

地区に対するアンケート調査結果

【更新版】

(1) 調査概要

- 調査目的： 交野市第5次総合計画基本構想の策定にあたり、地域の抱える課題や実情を把握するため、全地区を対象にアンケート調査を実施
- 調査方法： 区長会にて各地区長へ直接配布、郵送回収
- 調査期間： 令和3年11月4日から同年11月18日まで
- 回収結果： 配布数 23地区 有効回収数 22地区

(2) 結果概要

各設問に対して地区より次の回答があった。(一部重複していた回答は集約しています。)

問1) 交野市が今後どのようなまちになれば良いと思いますか。
<ul style="list-style-type: none">■ 若い世代（子育て世代）が魅力を感じるまち<ul style="list-style-type: none">・ 子育て世代への支援や就業機会が充実したまち・ 若い住民を呼び込む魅力ある住環境が整っているまち■ 住んでみたい、住み続けたいと思えるまち<ul style="list-style-type: none">・ 他市の方が外から見て住んでみたい、交野市民は住み続けたいと思える、安心・安全で活気のある子どもたちの笑顔あふれるまち・ 観光事業に特化した、子供たちが住んで楽しいまち、住み続けたいと思うまち・ 利便性が高く、環境が整っているまち・ 市民や市に訪れる方に憩いを与えられるまち・ 他市とは違った強みのあるまち■ 教育環境の良いまち<ul style="list-style-type: none">・ 利用者の意向を踏まえた教育環境の整備が進められるまち・ 子供達の将来のための教育投資を惜しまないまち■ お互いに助け合い、絆を深め合えるまち<ul style="list-style-type: none">・ 地域が連携し、お互いに助け合い、身近な人づきあいができるまち・ 町内会レベルの地域コミュニティ活動の支援ができるまち・ 地域での子育て支援活動を後押しできるまち■ 自然と文化を大切にするまち<ul style="list-style-type: none">・ 市民憲章やシンボルマークが示す市民一人一人のふるさとになるようなまち・ 豊かな自然と便利さのバランスのとれたまち・ 豊かで美しい自然が維持管理され、それを生かせるまち・ 安全にハイキングを楽しめるまち・ 自然や歴史の名所を自転車で巡ることができるまち・ 郷土を愛し、大切に思う豊かな心を育てるまち・ 市民一人一人の教養が豊かで、文化・芸術を愛するまち・ 伝統・文化を大切にし、継承するまち

■ 企業誘致による活力あふれるまち

- (第二京阪道路の交通網等も活用し) 民間企業の積極的な誘致を行い、市内で働く場所を確保できるまち

■ ずっと健康で暮らせるまち

- スポーツ設備が充実しており、長く健康でいられるまち

■ 防災に強いまち

- 災害に備え、(インフラ整備を含めた) 対策が取られているまち
- 土砂災害の未然防止を含めた山間部が整備されたまち
- 災害時でも、地域で助け合い困難を乗り越えられる力を備えているまち

■ 福祉の充実したやさしいまち

- 行政、民間企業、各地域の団体等が連携できる体制が整ったまち
- 地域実態に応じたキメ細かい外出支援ができるまち
- 高齢者が外出する際の移動手段に困らないまち

■ 情報が行き届くまち

- 情報のネットワークの行き届いたまち

問2) 問1でご記入いただいたようなまちになるために、貴地区で取り組むことが考えられる活動があればご記入ください。

■ 地域での交流・親睦

- 地域での(多世代の)交流・親睦活動
- 地域行事における幼児・子ども向け企画の開催
- コンテンツ(例:京阪電車トーマス号など)を活用した催しの実施
- 地域でのサロン活動等への支援、参加促進
- 自治会館を中心にサークル活動への支援
- 外出機会を増やす地域行事の実施
- 子ども達が将来親元に帰ってきやすいまちとなるための地域活動の実施
- 町内会、子ども会、老人クラブ、校区福祉委員会などのコミュニティレベルの活動への支援

■ 防災・防犯

- 自主防災・防犯活動
- 空き家の把握や独居老人の確認
- 子どもや高齢者の見守り活動
- 地域での見回り活動や、隣近所への呼びかけ
- 地域情報チラシ(自治会ニュース等)を通じた防災意識の高揚

↓の「■その他の地域活動」の 카테고리より移動

- 自営避難所運営の充実（避難所までの足の確保等）
- 防犯灯、防犯カメラの設置
- 水利組合との連携による雨水対策
- 消防OBや区役員OBなどへ「防災士」の資格取得を促すとともに、災害時に対応する組織を構築
- アウトドアやキャンプでの子供たちに対する震災等における知識や体験学習

■ その他の地域活動

- 地域における清掃・環境美化活動
- 市と地域との連携による交通手段の検討
- ~~空き家の把握や独居老人の確認~~
- ~~子どもや高齢者の見守り活動~~
- ~~地域での見回り活動や、隣近所への呼びかけ~~
- 山間部の保全に対する啓発活動
- 多様な趣味や運動活動等の同好会の結成促進
- 文化・芸術・伝統に係る行事のPR・啓蒙活動の活発化

問3) 問2で貴地区でご記入いただいたような活動に取り組むために、市に期待することがあればご記入ください。

■ 駅周辺の賑わい創出

- 交野市駅周辺にもっと活気があふれるよう対策いただきたい。

■ 地区の区割り等の見直し検討

- 地区の区域と、福祉の校区の区域が一致しておらず、地区のコミュニティが分断しているように感じているため、区割りの見直しの検討を願いたい。

■ 地区の課題を踏まえた公共交通の充実（高齢者の外出支援含む）

- 地形や現在のバスの運行状況等を踏まえ、山間部の高齢者が外出するのに困難とならないよう交通手段の充実を図っていただきたい。

■ 空家を活用した若い世代の流入促進

- 空家や空家予備軍が増加してきているため、それらが活用され、若い人たちの流入につながるよう積極的な介入をお願いしたい。

■ 市と地区とのより一層の連携

- 地区での取り組みは、市からのバックアップがあればこそという部分が多く、今後も充実したバックアップを期待したい。
- 地域での啓蒙活動を有効に機能させるための出前講座や夜間研修会の実施など

■ 地域の活性化

- 区レベルでのコミュニティ活動に対する市の直接的な支援
- 新たに交野市民となった方に対する各地区の活動の紹介

■ 回覧板の活用

- 町内会・自治会加入を促すため、重要な情報を回覧板で得られるような体制をお願いしたい。特に賃貸住宅を経営する企業には、居住者に地域コミュニティ参加を促すよう指導をお願いしたい。
- 地域に回覧用として提供されるPR・啓発資料は大切な情報だけに的を絞り、量を減らしていただきたい。

■ 福祉拠点、災害時の避難拠点の整備

- 天野川より西の地域には大きな公共施設が配置されていない。今後の高齢者の増加を見据え、拠点となる福祉施設を整備いただきたい。また、施設一体型小中一貫校を整備し、指定避難場所としての新たな拠点を早期に実現いただきたい。

■ 高齢者対策

- 老老介護となっている世帯は、一人が倒れても外部に連絡ができない。そのような場合でも外部に知らせる方法を検討いただきたい。
- 個人情報保護の関係により、高齢者問題に地区として対応しようにも情報が提供されないため、個人情報の取り扱いについて検討いただきたい。
- 高齢化に伴う地域行事の参加者減少への対応

■ 治水対策

- 内水氾濫に対する全体計画の策定

■ 環境美化

- 花の配布を2回／年の300～400株にしていきたい。
- 堆肥の生産を中止せず、以前と同様に希望者に配布していきたい。
- 青文字入りのポリ袋の配布（利用用途の制限緩和）続行

■ 暮らしの安全・安心

- 市が行う防犯灯や防犯カメラの設置
- 交通事故に対する安全対策（カーブミラーの設置や一旦停止表示、定期的な指導や取り締まりの実施）
- 防犯委員に対する講習会やイベント等の啓蒙

■ 財政的な支援（※キーワードのみ）

問4) その他ご意見があれば、自由にご記入ください。

■ 道路整備等について

- 歩道が少なく、道路も狭い。第二京阪道路の開通に伴い、幅員の狭い道路の交通量も増加している。次期総合計画では、道路整備を中心としたまちづくりを検討いただきたい。
- 街路樹の根による被害が出ている住宅地や歩道に対する対応をお願いしたい。
- 住宅地内の道路の傷みが進んできており、舗装について検討いただきたい。

■ 市民が憩う場所の確保（公園の整備など）

- 長法寺小学校の跡地には、親子で遊べるような大きめな公園を整備いただきたい。

■ 公共施設の合同化

- 公共施設の合同化を進め、空いた土地を公園や災害時一時避難場所のスペースとして活用いただきたい。

■ 自動車の交通対策

- 自転車や自動車のスピード抑制に係る検討をいただきたい。

■ 農耕地の現況

- 就農者が高齢で、後継者が居ない農家が多い。

■ 観光に特化した事業展開

- 子供世代を中心にフォーカスした、観光事業に着手すべきと考える。（子供がキーワード）

■ 市の遊休土地の有効活用

- 遊休土地を民間に売却し、有効活用を図っていただきたい。（利用率の悪い公園等含む）

■ 環境美化

- ペットの糞尿処理等のマナー講習の実施を検討いただきたい。

■ 地域への助成金の見直し

- 地域負担に見合った助成金額の調整

■ 市民活動への支援

- 多世代が楽しむことができるまちづくり活動を行う「おりひめ大学」などの団体の取り組みに対し、市の協力を期待したい。

■ 財産区の在り方の見直し（※キーワードのみ）

■ JR新駅の誘致（※キーワードのみ）